

平成20年度第1四半期報告の概要

1. 主要収支の状況

- ・ 保険料等収入は6,272億円、保険金等支払金は6,175億円。
- ・ 資産運用収益は1,520億円、資産運用費用は179億円。
- ・ 経常利益は387億円、基礎利益は765億円。

○主要収支項目

(単位：億円)

	平成20年度第1四半期累計期間
保険料等収入	6,272
うち個人保険・個人年金保険	3,823
うち団体保険・団体年金保険	2,318
保険金等支払金	6,175
うち解約返戻金	1,277
資産運用収益	1,520
資産運用費用	179
経常利益	387

○基礎利益

(単位：億円)

	平成20年度第1四半期累計期間
基礎利益	765

2. 主要業績の状況

- ・ 新契約年換算保険料（個人保険・個人年金保険）は230億円。
- ・ 保有契約年換算保険料（個人保険・個人年金保険）は1兆7,185億円。
- ・ 解約・失効率（個人保険・個人年金保険）は1.69%。

○新契約

(単位：億円、千件)

	平成20年度第1四半期累計期間
新契約年換算保険料（個人保険・個人年金保険）	230
うち第三分野	68
新契約高（個人保険・個人年金保険）	7,563
新契約件数（個人保険・個人年金保険）	225

○保有契約

(単位：億円、千件)

	平成20年度第1四半期会計期間末	平成19年度末
保有契約年換算保険料（個人保険・個人年金保険）	17,185	17,315
うち第三分野	3,383	3,386
保有契約高	2,305,001	2,344,349
個人保険・個人年金保険	1,243,962	1,268,320
団体保険	1,061,038	1,076,029
保有契約件数（個人保険・個人年金保険）	10,774	10,858

○解約・失効の状況（個人保険・個人年金保険）

(単位：億円、%)

	平成20年度第1四半期累計期間
解約・失効年換算保険料	233
解約・失効高	21,446
解約・失効率	1.69

○団体年金保険の受託資産残高

(単位：億円)

	平成20年度第1四半期会計期間末	平成19年度末
① 明治安田生命	65,327	65,633
一般勘定	59,653	60,082
特別勘定	5,673	5,550
② 明治トリスナー・アセットマネジメント	18,734	18,908
③ 安田投信投資顧問	3,719	3,645
合計 (①+②+③)	87,781	88,186

3. 資産・財務の健全性

- ・ ソルベンシー・マージン比率は、1,337.0%と、予測を超えたりリスクにも十分対応できる支払余力を確保。
- ・ 実質純資産額は4兆8,134億円、一般勘定資産対比で19.5%と健全な経営を維持していくための十分な純資産額を確保。
- ・ 一般勘定資産全体の含み益は、2兆7,389億円とバランスのとれた堅実な資産内容で、十分な企業体力を有しています。

○ソルベンシー・マージン比率、実質純資産額

(単位：億円、%)

	平成20年度第1四半期会計期間末	平成19年度末
ソルベンシー・マージン比率	1,337.0	1,314.1
実質純資産額	48,134	45,384
一般勘定資産に対する比率	19.5	18.5

(注)平成20年度第1四半期会計期間末は、法令等に基づいて当社が合理的と判断する方法で算出しています。

○時価のある有価証券の含み損益

(単位：億円)

	平成20年度第1四半期会計期間末	平成19年度末
時価のある有価証券の含み損益 (注1、2)	22,465	19,062
うち公社債	841	2,467
うち株式	19,833	15,212
うち外国証券	1,723	1,260

(注)1. 時価のある有価証券等の含み損益相当額を記載

2. 買入金銭債権等を含む

○一般勘定資産全体の含み損益

(単位：億円)

	平成20年度第1四半期会計期間末	平成19年度末
一般勘定資産全体の含み損益	27,389	23,954
うち有価証券 (注1、2)	22,331	18,914
うち土地 (注3)	5,118	5,115

(注)1. 時価のある有価証券に加え、時価のない有価証券(外貨建の子会社株式及び関連会社株式等)を為替評価した場合の含み損益相当額を記載しています。

2. 有価証券には、CD(譲渡性預金)等、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるものを含めています。

3. 平成11年度末(明治生命)および平成12年度末(安田生命)に実施した土地の再評価による「再評価差額」を含めています。また、借地権を含めています。

以上